

2013年3月6日

第175回日本経営倫理学会・理念哲学研究部会3月例会議事録

部会長・宇佐神

日時：2013年3月4日（月） 17:00-19:00

場所：学士会館308号室

出席：西藤、新川、古山、山本、宇佐神

欠席連絡：佐藤、新川、遠藤、長塚

1. 4月以降の例会日程：

- ①4月1日（月）17:00-19:00 学士会館308号室
- ②5月6日（月・祝）18:00-20:00 学士会館308号室
- ③6月3日（月）18:00-20:00 学士会館308号室
- ④7月1日（月）18:00-20:00 学士会館308号室
- ⑤8月5日（月）18:00-20:00 学士会館308号室
- ⑥9月2日（月）暑気払い

2. 議事：

①研究発表大会における研究発表者部会推薦について：3月例会で西藤氏の推薦を決定し、事務局に報告した。しかし、前年度、同氏を部会推薦としていたことを失念していたため、6日に事務局に確認の上、自由発表者として参加されるよう連絡した。なお、望月、新川両氏にも3月15日までに、参加申し込みを促したい。その他、部会員には自由発表での参加を期待している。

②「経営倫理の今日的課題」について：今後の取り組みについて（西藤氏より経緯の説明）

提言（理念哲学研究部会としての学会創設20周年に向けての提言「部会としての今後の研究取り組み等、部会員の皆様の夢と理想について」）を受け、日本経営倫理学会が、取り上げるべき、「経営倫理の今日的課題」について意見交換を行い、理念哲学部会としての提言の準備に入ることとしたい。

西藤氏：倫理の問題への取り組みが学会として後退していないか、これをめぐって3月例会に文書で問題提起。

古山氏「倫理におけるパティクラリズムとユニバーサルリズムをめぐって」は時間の関係上、4月発表とした。

「21世紀の社会と経営の理念」への一環として、続く③と④を位置づけたい。また、21世紀における経営者の資質に関し、ウェーバー『職業としての政治』より学び直すことも今後の課題としたい。

③和辻哲郎『人間の学としての倫理学』（岩波文庫）を20世紀後半の「コミュニティアリズム（共同体主義）」時代の予表として、その今日的意義を再確認した。

④田坂氏の『Invisible Capitalism 目に見えない資本主義』の発表者を下記の通り決定した。

4月例会で1話～4話：古山、5月例会で5話～8話：望月、6月例会で9話～13話：山本

3. 本日の研究発表：

和辻『人間の学としての倫理学』第2章12-16：望月氏は添付したレジメに即して発表した。

なお、本書に関するより包括的な理解のため、2月例会の議事録に添付・送付した古川、金子両氏の解説を踏まえた、西欧近代との対比における総括が必要と思われる。

以上